

地球にやさしい草本系レーヨン。



地球にやさしい再生繊維。その製品特性を「re(再生)+terra(地球、大地)」という意味の造語で表現しています。

re:terra (リ・テラ) とは

リ・テラは、^{そうほん}草本原料を使ったまったく新しい発想の素材です。
^{もくほん}元来、^{もくほん}木本であった原料を草本へとシフトすることで、地球環境と、
私たちの暮らしにさまざまなメリットが生まれてきます。

リテラは、環境に対するこだわりという消費者のニーズにもこたえることができる、多様性をもった新素材です。

カーボンニュートラルなケナフ

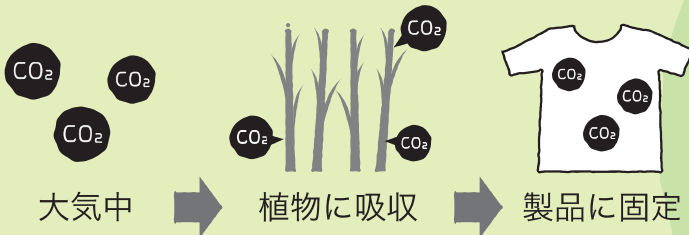


re:terra
kenaf
(リ・テラ ケナフ)

ケナフはアオイ科フヨウ(英名:ハイビスカス)属、ハイビスカスに似た花を咲かせます。
生長時に空気中のCO₂を一般の樹木の4倍以上吸収し固定化するため、
地球温暖化にストップをかける【環境保全植物】として注目をあびています。

CO₂ 固定

光合成によって炭素化した繊維を日用製品として長く留めることで、
その使用期間のCO₂を固定化することができます。
しかも、石油系繊維と違い、カーボンニュートラルな廃棄が可能です。

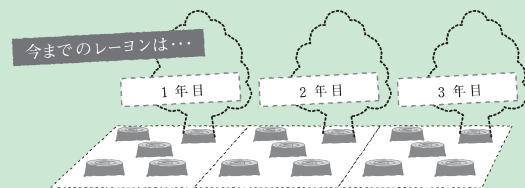


成長のはやい草は短期間でたくさんのCO₂を吸収しますが、短期間で
腐敗してしまいせっかく吸ったCO₂を大気に放出してしまいます。

リ・テラ製品にシフトすることは
美しい空気を守ることに繋がります。

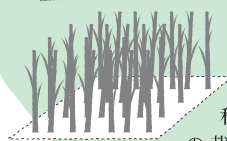
環境改善

草は、樹木と違い、毎年収穫が可能。作付け面積を
飛躍的に縮小でき、不要な造林地を自然に戻すことができます。



樹木は 再び収穫できるまで伐採面積を拡大

re:terra だと...



ケナフは栽培面積を拡大せず
毎年 収穫可能

私たちが選択した植物は原生に近いたちで
の栽培が可能。農薬散布も少なく済むので、
ひいては土壤汚染の抑制にもつながります。

ケナフのCO₂吸収量はこんなにスゴイ！

コットンは1haあたり、
Tシャツなら約4,000枚製造できます。
この4,000枚を“1”としたとき、各植物から製造できる
レーヨンからは、Tシャツは各々何枚できるでしょうか？

1ヘクタール当たりのCO₂吸収量と削減量

	年間の CO ₂ 吸収量	収穫サイクル	15年後の CO ₂ 削減量
スギの人工林	2.5t	約15年周期	37.5t
アマゾンの 熱帯雨林	16.5t	一度伐採すると 数十年	247.5t
ケナフ	30.6t	毎年収穫 できる	459t



草本系パルプを用いた「リ・テラ」は バイオマスマーク認定をうけています。

バイオマスとは生物由来の資源のこと。
日本の優れた技術はバイオマスから従来の石油系プラスチックに代わる様々な製品を作り出しています。
生物由来ですので環境負荷も小さくなります。バイオマスを活用し、品質及び安全性も良好であることを
認定した環境配慮商品の目印。それがバイオマスマークです。

